

授 業 科 目 名	文学	教 員 名	菅 邦男	免 許 ・ 資 格 と の 関 係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担 当 形 態	単 独	卒 業 要 件	保育士	選択必修
科 目 番 号	JIN101	配 当 年 次	1 年 後 期		こども音楽療育士	
単 位 数	2 単 位			小 幼 コー ス	選 択	幼 保 コー ス
科 目						
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
科 目	教養科目（保育士）					
系 列						
一 般 目 標	文学の面白さを、講義及び作品の講読を通して実感し、理解する。また、そのことによって自らの読書領域を広げ、日本の言語文化を知る一端とする。					
到 達 目 標	文学作品の魅力を実感・理解できる力を培う。また、作品分析能力を身に付ける。					
授 業 の 概 要	日本文学の面白さ、意義について学習し、実感する。「文学の面白さとは何か」を、俳句・短歌・詩・小説等を例に、講義する。またその発展として、親しみやすい現代俳句、近現代詩人（金子みすず、石垣りん、黒田三郎、茨木のり子、他）の作品を取りあげ、共に読んでいく。作品に対して、自分自身の感想・考えを持ち、文学の面白さを実感できるようにする。また、他人の意見を聞き、自分の意見を自由に発表できるようにする。授業形態は講義とし、「個別の質疑応答、対話型講義、グループでの討議・発表」等を取入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている」「5. 教育実践力を身につけている」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回：文学作品は作家独自の視点から事象が捉えられ、描かれている。そこには独自の物の見方・考え方がある。詩・短歌・俳句・小説を例に、文学の意義・面白さについて学習する。（目標(1)-4)</p> <p>第2回：俳句を読む 夏目漱石、芥川龍之介、村上鬼城、飯田蛇笏、高野素十等の俳句に触れることで、小説家・俳人の視点（物の見方）の独自性を実感する。（目標(1)-4)</p> <p>第3回：現代俳句を読む 現代俳句には自由律俳句などさまざまなものがある。ここでは坪内揆典氏の俳句を取りあげ、その独自性と魅力を実感する。（目標(1)-4)</p> <p>第4回：俳句を作る 坪内揆典氏の俳句を踏まえ、自由に俳句を作ってみる。季語にはとらわれないものとする。（目標(1)-4)</p> <p>第5回：句会を行う 句会の方法について知る。班に分かれ、班ごとに句会を行う。獲得票の多かった3句を班の代表句とし、全体の句会に提出する。全体で句会を行う。（目標(1)-4)</p> <p>第6回：金子みすずの人生 金子みすずは「童話」という雑誌の投稿詩人で、選者の西条八十に認められた。その人生は短く、決して幸せと言えるものではなかった。金子みすずの詩と人生を学ぶ。（目標(1)-4)</p> <p>第7回：金子みすずの詩を読む 金子みすずの詩は教科書教材にも取りあげられている。金子みすずの詩の魅力を実感し、独特の視点と物の見方・考え方を学ぶ。（目標(1)-4)</p> <p>第8回：石垣りんの人生 石垣りんは高等小学校の頃「早く社会に出て」「自分したいと思うことをしたい」と思ったとい</p>					

	<p>う。学歴にとらわれず小さい頃から働いてきた石垣りんの人生観を学ぶ。(目標(1)-4)</p> <p>第9回：石垣りんの詩を読む 石垣りんの詩も教科書に取りあげられている。作品(詩)を読み、その魅力を実感する。また、詩「表札」などに表れた精神の在り方を学ぶ。(目標(1)-4)</p> <p>第10回：黒田三郎の人生 黒田三郎は東京帝国大学出身でNHKに入社した、世間的に言えばエリートである。しかし一方では大酒飲みで、出世街道を歩んだわけではなかった。その人生からは何編もの美しい詩が生まれる。黒田の詩と人生について学ぶ。(目標(1)-4)</p> <p>第11回：黒田三郎の詩を読む 「夕方の三十分」など国語教材としても取りあげられている。「紙風船」には曲も付けられた。誰でもが目にする日常的な風景の中に、見落とされた真実が描かれる。黒田の詩の魅力を実感する。(目標(1)-4)</p> <p>第12回：茨木のり子の人生 茨木のり子は薬学部出身の薬剤師である。しかし大学時代は「空襲下逃げ惑うばかりの生活」で、繰り上げ卒業。以後薬剤師の資格を使うことは無かった。戦争と青春への思いを、詩を通して考える。(目標(1)-4)</p> <p>第13回：茨木のり子の詩を読む 茨木のり子の詩はユーモラスで、それでいて作品「自分の感受性くらい」のように生き方をずばりと言い切るところがある。茨木のり子の詩の魅力を実感する。(目標(1)-4)</p> <p>第14回：Aグループ 各自好きな詩を持ち寄り、好きな理由、共感する面について発表する。また、選んだ詩人の人生等について分かったことを説明する。(目標(1)-4)</p> <p>第15回：Bグループ 各自好きな詩を持ち寄り、好きな理由、共感する面について発表する。また、選んだ詩人の人生等について分かったことを説明する。(目標(1)-4)</p> <p>期末試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>発表・課題提出50%、期末試験50%で評価を行う。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
<p>時間外の学習 について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>講義内容について自分なりに整理し直し、次回授業までに完全に理解しておくこと。</p>
<p>テキスト</p>	<p>プリントを配布する。</p>
<p>参考書・ 参考資料等</p>	<p>未定</p>
<p>担当者からの メッセージ</p>	<p>特になし</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>木曜日 15:00～17:00 その他の日時は、メール等でアポイントを取って来室すること。</p>